



学校便り

平成23年11月24日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

「学校へ行こう週間」を終えて

1日(火)から5日(土)までの5日間、広瀬小学校では、「学校へ行こう週間」を実施しました。この期間中、平日はなかなか学校へ来にくい方のための土曜参観日を実施しました。また、今年度は新しく広瀬小ふれあいフェスティバルを実施し、盛況のうちに終えることができました。

広瀬小学校では、できるだけ学校を開放し、気軽に学校へ来ていただき、子どもたちが頑張っている様子を見ていただきたいと思います。子どもは、認め褒めることで成長します。これからもぜひ学校へお越しくださるようお願いいたします。

【土曜日の参観者から】

- ・あきみつけの9月から、時を経ての自然の移り変わりを観察しながら、11月、おもちゃになるなんて素敵ですね。人に伝える発表力をきたえてくださっているのですね。
- ・おもちゃ名人のさくひんの工夫を発表する時には、とても緊張しているのが伝わってきましたが、一生懸命なところも伝わってきました。一緒に遊んでいる時はいきいきとした笑顔で、一緒に楽しめました。フェスティバルの発表も毎日取り組んだ成果が出ていたと思います。皆、自信を持った姿が素敵でした。
- ・読書感想(心に残った場面)を絵に表現することは、今後も続けていってほしい。
- ・こういう形での参加は初めてでとまどいしましたが、下の子どももあたたかく迎えてくださって、とても楽しく見学することができました。自由な制作の中に子どもならではの発想、大人では無理だと決めてかかるところをやってみる力を感じました。

※広瀬小ふれあいフェスティバルの様子



育てたもち米でもちつきをしました。

春から5年生が育てていたもち米が実り、11月5日の広瀬小ふれあいフェスティバルでもちつきをしました。当日は、地域の方やお父さん方に手伝ってもらい、おいしいもちができました。5年生もきねでおもちをついたり、できたてのおもちを丸めたりしました。

最後に、ぜんざいの中におもちを入れて、みなさんに食べていただきました。



全校で、自主勉強ノートに取り組む。

昨年11月より、全校で自主勉強ノートに取り組んでいます。

この取り組みは、子どもたちが自らすすんで学習できればと思い、はじめたものです。一冊終わると校長室に持って行き、校長先生にノートを見てもらいます。その後、校長室にあるしおりを一つもらって帰ります。

今年度になって子どもたちは、4月からのべ250冊、校長室にノートを持ってきました。一人で何冊も終えている子どもがいます。全員が一冊は終えているクラスもあります。

広瀬小では、この取り組みを通して、子どもたちの家庭での学習が習慣化されることも願っています。



募金、ありがとうございました。

11月5日(土)のふれあいフェスティバルで、東日本大震災の募金を行いましたところ、たくさんの方に賛同していただき総額 5,319円 集まりました。

さっそく、日本赤十字社東日本大震災義援金として、振り込みました。

ご協力、ありがとうございました。

振替払込請求書兼受領証	振替払込請求書兼受領証
口座番号 00140-8	口座番号 00140-8
金額 507	金額 507
日本赤十字社 東日本大震災義援金	日本赤十字社 東日本大震災義援金
金額 ¥4319	金額 ¥1000
依頼人 広島市広瀬小学校	依頼人 広島市広瀬小学校
依頼先 23-11-09 広島十日市 郵便局	依頼先 23-11-10 広島十日市 郵便局
免除 免 除 (51468)04 N91340003	免除 免 除 (51468)05 N91450009